

2026年6月24日発行

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 外部連携団体からのお知らせ
- 3) 健康心理学コラム vol. 162「森林から得られる心身への効果をどう都市に持ち込むか」大塚 啓太 (森林総合研究所)

1) 学会からのお知らせ

■日本健康心理学会第39回大会のお知らせ (日本健康心理学会第39回大会準備委員会より)

<大会HP> <https://healthpsychology2026.com>

期日: 2026年11月21日(土)・22日(日)

会場: 大阪人間科学大学 庄屋学舎 (〒566-0012 大阪府摂津市庄屋1丁目12-13)

準備委員長: 大野 太郎 (大阪人間科学大学)

テーマ: 「ヘルスサイコロジーの”新世界”」 A New Era in Health

Psychology

<大会スケジュール>

発表申込み受付 (一般演題、シンポジウム) および発表論文集原稿投稿受付: 7月1日(水) ~ 8月7日(金)

参加登録 早割受付: 7月1日(水) ~ 9月30日(水)

通常受付: 10月1日(木) ~ 11月22日(日)

■「高校心理学教育と心理学検定に関する調査」結果の公開 (事務局より)

日本心理学諸学会連合から、「高校心理学教育と心理学検定に関する調査」の結果 (単純集計表) の公開 (日本心理学会 HP 内) について案内がありました。本調査にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2026/06/20260601_research.pdf

■ヨーロッパ健康心理学会 Practical Health Psychology blog (PHPB, 実践健康心理学ブログ) の6月記事のお知らせ(国際委員会より)

"Helping caregivers when patients leave hospital: Practical lessons from co-production"の日本語記事「退院時介護者を支援する: 当事者協働から得られた実践的教訓」が掲載されました。

<https://practicalhealthpsychology.com/ja/2026/06/helping-caregivers-when-patients-leave-hospital-practical-lessons-from-co-production/>

※アクセスの際には、URL 全てをコピーしアドレスバーへペーストのうえご覧ください。

※ブラウザによっては開けない場合があります。その際にはお手数ですが、別のブラウザにてお試しください。

■2026年度アーリーキャリアヘルスサイコロジスト (ECHP) 賞について (国際委員会より)

2026年度アーリーキャリアヘルスサイコロジスト賞の公募期間は、6月1日(月) ~ 7月31日(金) です。詳細は以下の学会HPをご覧ください。

https://kenkoshinri.jp/pdf/2026_echp.pdf

2) 外部連携団体からのお知らせ

■隔月刊「健康・体力づくり」が増刊 (健康・体力づくり事業財団より)

新しく情報冊子「健康・体力づくり」(隔月刊) が増刊されました。ホームページにてデジタル版が閲覧できます。

<https://www.health-net.or.jp/syuppan/kenkotairiyokuzukuri/index.html>

3) 健康心理学コラム Vol. 162

「森林から得られる心身への効果をどう都市に持ち込むか」

大塚 啓太 (森林総合研究所)

森林浴によるリラックス等の精神的健康効果はよく知られていると思います。自然要素が豊富な森林空間では、リラックス効果や主観的ウェルビーイングが高まることがわかっています。コロナ禍を経て、近年では都市緑地を活用しながらその効果を得る試みも見られるようになりました。この場合、自然との感情的つながり (肯定的感情や場所愛着) が媒介となり、効果を増減させるとも指摘されます。

森林のもたらす心身への効果を都市に持ち込むことはわたし自身の関心事でもあります。都市住民は森林の利用機会が減少傾向にあり、実際に東京都23区住民の森林利用頻度の低さが示されました (大塚他, 2026)。ただし、東京の人々がおしなべて森林に関心がないのではなく、25%は森林をキャンプ等でよく利用する人と同様に自然との感情的つながりを感じていることもわかりました。例えば「明治神宮」や「大手町の森」といった森林を模した特徴的な都市緑地整備がこうした人々に有用に作用しているのかもしれませんが、多くの都市住民は相対的につながりが薄く、都市緑地の効果は届いていない可能性も指摘できます。そのため、VR技術を利用した疑似的森林体験の活用などによって、森林を都市に持ち込むための検証と応用も同時に価値があり、今後試みたいテーマです。

引用文献

大塚啓太・新保奈穂美・坂本優紀・水内佑輔・小田龍聖・高山範理・宮本麻子・神宮翔真・八巻一成 (2026). 森林空間をレンタル利用する者の「自然に対する感情反応」——東京都民と比較した場合の森林レンタルサービス利用者の心理評定から—— 日本森林学会誌 108(2), 52-60.

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 < jahp@pac.ne.jp >

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 < jahp@pac.ne.jp >

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<https://kenkoshinri.jp/health/health1.html#mailmaglist>